

農業の転換が求められている中、新たな農業や、農家にとって有意義な農業振興施設となるよう進めていきたいと思っている。

なお、これを進めるためには当然、周辺の皆様のご協力すなわち農家意向調査を含めて、今後、担当課とも連絡、それから調整、協議を図りながら進めて行きたいと考えている。



いちご栽培

## 問 クリークの水質悪化が原因と推測される農作物の生育障害が発生しているが、通常の水質検査及び冬期のクリークの水停滞期の監視体制の対応について伺う。

**町長** 議員ご指摘のように、家庭用雑排水、店舗等の雑排水や化学肥料のクリークへの流入が原因と思われるクリークの水質汚濁が改善されない状況にある。

これらの改善については、水を流すことが最も有効な方法であると思うが、水利権の問題を含め大変難しい問題であるので、今日まで改善されずに来ていると思っっている。しかし、このまま放置できる問題でもないのでは、何とか、一歩でも改善できるように取り組んでいきたいと考えている。

町内のクリークの水質検査は、3年毎定点調査を町内6箇所、年3回(7月・12月・3月)環境衛生協議会の協力を得ながら実施している。調査項目として、BOD(水質

汚濁の程度を表す数値)など7項目を検査している。この結果は、広報「おおき」で町民の皆様にお知らせしているところである。

冬期の監視体制は、地元の水路管理委員さん方との連携を密にし、協力をいただきながら取り組んでいきたいと考えている。

## 問 冬期における濃縮防止の希釈排水の徹底とその他の対策について伺う。

**町長** アクアス排水の希釈については、火葬場南側クリーク水をポンプアップして貯留池で希釈をして放流をしている。希釈対策を始めて、数年間は希釈水取水口クリークのEC数値が低かったため効果は上がっていたが、源泉100%にした影響もあり、冬場のクリーク水の停滞する時期は、希釈水取入口クリークのEC数値が上がり、希釈の効果が十分でない状況である。

このようなことから、希釈

については、抜本的な改善対策が必要と考えている。

現在、周辺水路のEC等を調査しているところであるが、この結果に基づき、関係する水利関係者の皆さんとの協議を進め対応策を進めていきたいと考えている。

## 問 毎年アクアス周辺で発生したウォーターレタスが下流域で大繁殖している。熱帯植物であるのに越冬しているのは温泉水が原因ではないか、徹底した調査と駆除対策を要望する。

**建設課長** 暖冬傾向にあることと、温泉水は、貯水池に送られ温度を下げてクリークに放流されているが、近くでは温度上昇は見られている。アクアス周辺より下流へ広く分布するようになっているので、少しは関連があるのではないかと思われる。他県では河川等にも繁殖していることから、原因はつかんていませぬ。

夏季繁殖していたウォー

ターレタスも冬季は霜や寒により枯れて、水面にはほとんどないような状態となるので、多く繁殖してからでは対応が困難となるので、アクアス周辺より役場までの水路について、現在継続的に雑草除去作業を行っている。

また、行政区の協力により、雑草除去は行われているが、ウォーターレタスの繁殖が早く除去が困難になってきており、特に多い八町牟田上下・上八院上下の区長さんと、雑草対策について協議を行い、多く繁殖する前の除去作業と、小さい目の網を要所に設置し下流へ流れない対策をとることについて、協力をお願いしているところである。

ウォーターレタスについては注意深く観察を行うとともに除去に努めていきたいと思っっている。



夏季繁殖した(ウォーターレタス)